



## 平成 21 年 12 月号

発行日 平成 22 年 1 月 18 日発行  
発行者 広島経済同友会 尾道支部  
住所 尾道市土堂 2-10-3 商工会議所ビル 3F  
Tel 0848-23-2222 Fax 0848-23-3333  
e-mail: onodoyuk@urban.ne.jp

## 10 月公開例会報告

開催日時：平成 21 年 10 月 19 日 (月) 18:30～

開催場所：尾道商工会議所ビル 2 階

担当部会：新尾道市研究委員会

基調講演： テーマ「尾道市の行方」

講師 広島大学経済学部 教授 戸田常一氏

鼎談： 広島大学経済学部 教授 戸田常一氏  
同 教授 後藤 昇氏

広島経済同友会尾道支部長 徳永 修氏

報告者： 新尾道市研究委員会委員長 松下 雅人



10 月例会は、10 月 19 日に「尾道市の行方」と題し広島大学の戸田教授、後藤教授をお招きし行いました。また例会前に尾道市行政及び尾道市議会についてアンケートを行い、合計 235 名 (市役所管理職 96 名、商工会議所・商工会会員 55 名、経済同友会会員 47 名、県会議員・市会議員 19 名、青年会議所会員 18 名) の回答を頂きました。

例会は 2 部構成で行い、第一部は戸田教授の基調講演「尾道市の行方—中小都市に忍び寄る危機と対応—」を御講演頂き、第二部は後藤教授、徳永支部長が加わり鼎談を行いました。

戸田教授の講演では、まず中国地区の中小都市の現状分析と問題点の指摘がありました。中国地方の分散的に位置する中小都市の多くは周辺の農村地域や島嶼部を含む中山間地域の暮らしを支えてきた。それら都市の中心的産業は工業であり、昨今は中国大陸における経済状況に喚起された生産需要が大きい。

ただその需要は不透明であり、人口減少、少子高齢化により地域経済が持続的に発展するのが困難になりつつある。そのような中小都市を活性化するには、工場誘致、新産業の創出などとともに、「社会的共通資本」整備が必要となる。

「社会的共通資本」とは地域の歴史・文化や自然環境に合った快適で暮らしやすい暮らしを実現するとともに、それを支える



ための地域社会の仕組みである。尾道市はこの歴史・文化の資源が豊富でさらに「しまなみ海道」や広域合併により観光や産業の基礎的要因が整いつつある。これからは、「官民の協働」のもとで地域経済の循環性と自立性を高め、地域経済を持続的に発展させることが重要であると述べられました。次に第二部では後藤教授がコーディネーターとなりアンケート結果を参考に鼎談を進めました。まず尾道市で官民からなる戦略会議のような組織が必要かとのアンケートで団体、議会関係者の過半数が必要との結果を踏まえその実現の方向性について

話し合いました。戸田先生からは、東広島市などの実際に先生が参画されている実例を示され、産・学が制約のない中で主体的に行動し提言した方が良いのではないかとのご意見でした。

また、尾道市議会はどんな権限、能力を強化すべきかの質問では、政策立案能力が全体の 60% を占めました。これについて徳永支部長より議員立法を積極的に提出できるような環境整備を行うべきだ、との意見が出ました。鼎談終了後、経済同友会会員、尾道市議会議員双方から尾道市の将来を考える勉強会の開催の要望があり、その実現を約束し閉会しました。

## 呉・広島中央都市懇話会

開催日時：平成 21 年 10 月 21 日 (水) 13:00～20:00

開催場所：講演会 乙女座

見学会 御手洗町並み保存地区

懇親会 かつら亭 (呉市蒲刈町)

参加者：徳永 修、中島秀晴、狩野牧人

講演会： テーマ「御手洗の歴史と観光の概要」

講師 観光交通センター 今崎仙也氏

呉中央棧橋より高速船でクルージング、御手洗港へ到着後、乙女座へ徒歩にて移動。講演会終了後、御手洗町並み保存地区を散策、見学をした。

## 第 67 回西日本経済同友会大会

開催日時：平成 21 年 10 月 29 日 (木) 13:00～19:30

開催場所：海峡メッセ下関

参加者：徳永 修、今岡寛信、中島秀晴、狩野牧人 久保賢司

基調講演：「日本の危機～東京一極集中と改革停止」

講師 作家・経済評論家 堺屋太一氏

パネルディスカッション

◇パネリスト 芦塚日出美 (福岡経済同友会代表幹事・九州通信ネットワーク社長)

大西正曹 (関西大学社会学部・教授)

中尾友昭 (下関市長)

◇コーディネーター 山中 諄 (関西経済同友会代表幹事)



## 備北都市懇話会

開催日時：平成 21 年 11 月 13 日 (金) 14:30～19:10

開催場所：備北丘陵公園

参加者：徳永 修、中島秀晴、山本 修、狩野牧人

基調講演：「森のバイオマスが地域を再生させる」

～森のバイオマス研究会の取り組み～

